

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(5月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長

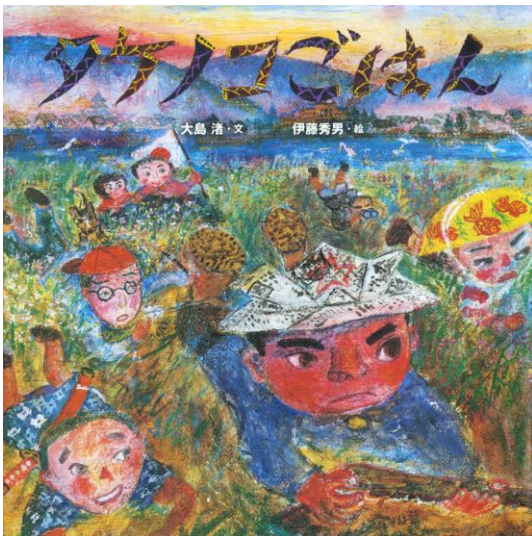


『タケノコごはん』

大島 渚 文 / 伊藤 秀男 絵 / ポプラ社

「戦争」と「平和」のメッセージ絵本:

小学校低学年から、大人の方にもおすすめします。



戦争という、国家間における出来事というのは、その時間に遭遇した全ての人達が生活環境から経済、文化、人生を変えてしまう行為だと思います。

私も40年前に中国の東北地方を訪れました。当時、日本に戻れない大勢の日本人に会いました。戦争をしなければ平和を創れない矛盾を思い、一人一人が平和を思う志と行動が大切だと思います。また、私も被爆2世として戦争の愚かさを感じます。

この絵本を読んで平和の大切さを知ってほしい。

内容のご紹介

「戦場のメリークリスマス」など作品で、世界で活躍した映画監督、故大島渚氏の初の絵本。絵は、抜群のリアリティーを放つ絵本作家、伊藤秀男氏。物語は、大島渚氏の同級生、さかいくんが主人公。さかいくんは戦争で父親を亡くし、担任の先生も戦死。その代わりに担任の先生も戦争に行くことに。出征前に押しかけた先生の家で出されたタケノコごはんをものもいわずに食べ、「先生、戦争なんかいくなよっ!」と、泣きながら叫ぶ、さかいくんの表情と、それを聞いた先生の圧巻の表情に注目!今こそ伝えたい「戦争」と「平和」のメッセージ絵本です。

(矢祭もったいない図書館)